



美祢市大嶺公民館

# かわらばん

令和3年2月号【大嶺町学校区】TEL 52-1123



早いもので新年を迎え一ヶ月が過ぎました。1月の雪には驚かされましたが、季節は確実に進み草木も春の訪れを知らせるかのようには芽吹き始めました。とはいえ、このまま一気に春になるとは思えません。余寒厳しき折から体調を崩されませんようくれぐれもご自愛ください。

コロナ禍で行事の中止や変更をせざるを得ない状況にありますが、月一回の放課後子ども教室『わくわく教室』は、感染症対策を行いながら開催しています。

上段の写真は12月19日(土)の「クリスマスリース作り」、下段は1月16日(土)に「お正月遊び」をしたときの様子です。

思い思いに自慢の作品を完成させた子どもたちの笑顔に、一日も早く安心して過ごせる日常が訪れることを願わずにはられませんでした。



## 廃棄物処理の統一に伴う家庭ごみの出し方の変更のお知らせ

市では、旧市町で異なっている施設の受付時間など廃棄物処理の統一について、令和3年度から実施します。

### 1 廃棄物処理施設の受付時間の変更

施設名	現行	変更後(令和3年4月～)
美祢市カルストクリーンセンター	月曜日～金曜日 9:00～16:30 土曜日 9:00～12:00	<b>月曜日～金曜日 9:00～16:00</b> 土曜日 9:00～12:00
美祢市一般廃棄物最終処分場・リサイクルセンター	9:00～16:00(12月30日は9:00～12:00)	9:00～16:00(第3日曜日及び12月30日は <b>9:00～12:00</b> )

### 2 廃棄物処理施設の持込手数料の変更

施設名	現行	統一後(令和3年4月～)
美祢市カルストクリーンセンター	家庭系 100kg未満 200円、 100kg以上 100kg毎に 200円 事業系 100kg未満 1,000円、 100kg以上 100kg毎に 1,000円	家庭系 <b>100kgにつき 400円</b>
美祢市一般廃棄物最終処分場・リサイクルセンター	100kg以下 100円、100kg超 100kg毎に 100円	事業系 <b>100kgにつき 1,200円</b>

### 3 家庭ごみの収集方法の変更

ごみの種類	収集方法	変更後	収集方法
びん類	指定袋	➡	<b>無色透明の袋</b>
缶類			
衣類			

※衣類の収集は、令和3年度から**2ヶ月に1回**となります。

※「固形燃料化できない」指定袋を無色透明の袋として使用もできます。

※金属類・プラ類・その他のごみは、「固形燃料化できない」指定袋で出してください。(変更ありません。)

【問い合わせ先】生活環境課 [☎0837 (53) 1090]



## 令和2年度 美祢市人権教育啓発作文

### 【中学校の部 優秀作品】

### 誹謗中傷しない、させない

大嶺中学校 三年 山方 基幹

現在の日本でのインターネット利用者は年々増加しています。沢山の情報が入る便利なインターネットですが、その普及に伴い様々な問題が起こっています。そのうちの一つが匿名による書き込みが可能なことや情報を簡単に発信できることによる誹謗中傷をすることでプライバシーや名誉を侵害することです。そのことにより、自らの命を絶ってしまう悲しいニュースが多く、自ら命を絶った人の家族や友達が悲しんでいる姿をテレビやネットでよく見ます。最近では、将来を期待されていたプロレスラーの木村花さんが、「二度とテレビに出るな」「気持ち悪い、消えろ」などの言葉を見ず知らずの多くの人からネットに書き込まれ、自らの命を絶つ悲劇が起きました。書き込んだ人たちは、みんながやっているからと軽い気持ちで書き込んだのではないのでしょうか。僕も、悪いこととは分かっていますが、みんながやっているからやっても大丈夫とやってやることがあります。

僕は、携帯電話を持っています。両親からはSNS使用について節度をもって使用するよう言われています。SNSとして代表されるラインのグループ機能を使って、多くの知人と、クラスメイトのことや、ほかの人たちのことについて話をしています。どこまでが誹謗中傷的な発言ではないのか、どこからが誹謗中傷的な発言なのかが自分でも判断がつかなくなることがあります。つい、簡単に書き込めるアプリなので、無雑作に書き込みをしてしまうこともあると思います。その無雑作に書いた書き込みが、人の心を傷つけ、自ら命を絶ってしまうことにつながると思います。なぜ、命まで絶たなければならないのでしょうか。生きていれば、楽しいことも沢山あるのではないかと思います。また、家族や友達が悲しむことも考えなかったのかと思います。誹謗中傷をする人は逆の立場になって、もし、自分が同じことをされたらどのような気持ちになるか考えられなかったのだろうかと思いました。

インターネットやSNSで情報を集めることはとても簡単で便利です。でも、その情報の中には、これは本当なのかなと思う内容も多くあります。信じて良い情報、悪い情報を見極められるようにならないといけないと思います。情報を見極めるためには、一つの情報にとらわれることがなく、沢山の情報や、テレビなどの有名な報道機関などの情報を最大限に活用していかなければならないと思います。また、「自分自身が間違っただけの情報を流さないためにはどうしたらいいのか」ということも考えなければいけないと思います。

自分自身が流している情報とはどんなことなのでしょう。僕は、流す情報として絶対にやってはいけないものは、自分以外の人への誹謗中傷的な発言、自分以外の人への個人情報、自分が不利になるような情報、この三つだと思います。しかし、誹謗中傷的な発言とはいったいどんな言葉なのでしょう。これを考えると判断がつかなくなってしまうと思います。実際にインターネットで調べてみると、誹謗中傷とは、根拠のない悪口を言いふらして他人の名誉を損なう行いのことと書かれていました。そして「誹謗」「中傷」どちらも悪意をもって他人を攻撃する行為である点は共通しているということも書かれていました。このことから、明らかに相手に言ったら傷つくこと、極端に言えば、「死ぬ」「消えろ」「ごみ」「くず」など相手をけなすような言葉があてはまるのは当然判断できると思います。しかし、誹謗中傷とそうでない境界線「グレーゾーン」が僕たちにとって分かりにくいところなのではないかと思います。一見よさそうな言葉、「すごい」「ありがとう」「いいね」などの感謝する言葉、「かっこいい」「かわいい」などと人の容姿をほめる言葉、こんな言葉も人それぞれの考え方、受け取り方が違うのであれば誹謗中傷に入ってしまうかもしれません。人の考えから、受け取り方が変わるのなら、自分は悪意があって発信したわけではなくても誹謗中傷ととらえられてもおかしくないと思います。

僕は、SNSでの誹謗中傷が無くなるためには、まず発信するときにコメントした相手の立場になって、自分が同じことをされたらどのような気持ちになるか考え、信じて良い情報悪い情報

を見極めてからコメントするように心がけることが一番であると思います。そして今、誹謗中傷かどうかわからない、相手の考え方や、受け取り方で変わる「グレーゾーン」についても、深く考えていくべきではないかと思います。何より日本人一人ひとりがSNSでのルールをしっかりと考え、それを実行して守っていくべきだと思います。僕も、SNSを使うときに絶対人を傷つけるような発言はこれまでも、これからもしません。



## 【高等学校の部 最優秀作品】

## 「言葉の責任感」

成進高等学校生徒

今や持っていることが当たり前になったスマートフォン。分からないことがあってもすぐに検索出来たり、友達とメールや電話ですぐに会話出来たり、ネットの中でいろいろな人達と知り合えたりすることが出来ます。様々なことを「すぐ」にでき、とても便利な反面、一つ一つの言葉に対しての責任感が薄くなってきているように感じます。では何故、言葉の責任感が薄れてしまったのでしょうか。

私は、ツイッターやインスタグラムなどのSNSの利用者が増えたことだと思います。SNSの利点としては、匿名で自分の思いを不特定多数の人々に発信出来ることや、様々な意見を知れることなど沢山あります。ですが、この利点が逆に欠点になることがあります。その欠点は、誹謗中傷に繋がっているのです。

言葉の責任感が薄れることによって、誹謗中傷が生まれてしまうのは何故でしょうか。

芸能人が誹謗中傷を受け、意見を言ったり、最悪の場合自殺したりした。という内容のニュースを、インターネットやテレビで見たことはありますよね。知名度が高いので、不祥事を起こしたときはもちろん、たった一言何かを言っただけだったり、してもいない出来事をでっち上げたデマを流されたりなどをすると、一斉に集中攻撃をし始めます。相手が自分のことを知らない、見えないからといって、残酷で無慈悲な内容の言葉を投げ続けるのです。このようなことをする人達は、もし自分が同じことをされたらどう思うかなんて、実際にされないといけないのだろうなと思います。ただ、悪口を言う理由として、相手の人が本当に嫌いだからというよりも、間違った正義感から目先だけの情報に踊らされてしまっている人や、ストレスの吐口にしている人、見えない同調圧力に押されている人、相手の反応を楽しんでいる人が多いと思います。どんな理由があつたとしても、人を貶め、人格を否定するような言葉を、何も考えずに軽々と使うということは、他人に鋭利な凶器として突き刺さることがあります。言葉の責任感の薄れからそのようなことをしてしまい、結果的に誹謗中傷につながっていたのです。

もし、SNSの利点であり欠点である匿名性を無くしたら、誹謗中傷は減ると思いますか。答えは違うと思います。韓国でネットに実名性を取り入れたものの、悪口がほとんど減らなかった。という一例や、日本でもラインいじめというものがあるからです。ラインいじめは、相手の実名が分かっている場合が多いと思います。なので、匿名性を廃止することが誹謗中傷を減らすことにはならないのです。

言葉は時に、ナイフよりも重くて鋭い凶器になり、誰かの身も心も壊してしまいます。それによって、犠牲者が出たとしても他人事だと思ってしまう、また同じことを繰り返す、負の連鎖を生みだしているのが今の社会です。一度世に出てしまったものを、簡単に取り消すことは出来ません。たった一瞬の、軽い気持ちでやってしまった過ちが、相手やその家族、友人、そして自分にも大きな傷をつけてしまうことになります。その結果、様々な人々の人生を狂わせ、最終的に痛い目を見て後悔するのは自分です。そんなことが起きないように、SNSの利点を上手く使うことが出来れば、今の知り合いとの仲を深めることが出来たり、新しい友達を作れたり、会社の広告を宣伝出来たり、災害時の救助などにも役立てられ、世の中が少し明るくなるはずですよ。

インターネットによる人権侵害を無くすには、言葉の重みを知り、責任を持つこと、他人の気持ちを考えること、自分がされて嫌なことはしないことなどがあります。これらの多くは、子供の頃に学校や家で学んできたはずの当たり前のことだと思います。自分の一時の感情に身を任せて、誰かの人生を狂わせてしまわないように、小さな頃の初心を思い返すことが出来れば、人も

社会も変わることが出来るのではないかと感じます。そうは言っても、結局は理想論でしかなくて、人は簡単には変わりません。変わろうとしません。いつの時代も、心の中に住んでいる悪魔が消えることもありません。ただ、誰か一人でも誹謗中傷する人が減るように、される人が救われるように、社会が変わるように願っています。

スクールギャラリー



むぎがわ

# 麦川小学校

<http://www.c-able.ne.jp/~mugi-e>



子どもたちは、日々、様々な体験や人とのかかわりを通して、たくましく成長します。今回は、本年度第1回目の麦川小放課後子ども教室「麦っ子塾」の活動をご紹介します。第1回は11月14日「カンテキでカレーづくり」です。地域で採掘された無煙炭を燃料に飯ごうやカンテキを用いた炊飯、カレーづくりを親子で行いました。コロナウイルス感染症予防に配慮しながらの活動です。



食べる時は、密を避けて、黙って食べます！！ 保護者の皆様は、廊下やワークスペースを使用しました。



## いきいきした麦っ子をめざして！

「麦っ子塾」だけでなく、麦川小学校の教育活動でも、学校・保護者・地域が「チーム麦川」として児童の成長を見守り、支えてきました。コロナ禍の中ですが、子どもたちはその期待に応え、心も体も一段と大きくなったように思います。3学期は、卒業・進級という目標に向けて自分を磨く努力をしています。



## 2月の行事予定



学校名	日時	行事	日時	行事
大嶺小学校	2/5 (金)	体験入学(新入児)	2/16 (火)	二分の一成人式
重安小学校	2/3 (水)	全校朝会	2/19 (金)	参観日
麦川小学校	2/12 (金)	なわとび大会	2/17 (水)	参観日
大嶺中学校	2/1 (月)	全校集会	2/6 (土)	2年立志のつどい